

平成22年度病院事業会計決算の概要

病院事務局経理班
0479-72-1525

1 平成22年度病院事業会計決算の状況

(単位:千円)

	病院事業	介護老人保健施設事業	合計
収益	2,079,460	558,372	2,637,832
費用	2,066,189	576,174	2,642,363
差引	13,271	△ 17,802	△ 4,531
繰入金	288,284	27,551	315,835
差引	△ 275,013	△ 45,353	△ 320,366

市民病院を取り巻く環境は、医師不足などにより依然として厳しい経営環境となっているが、平成22年度では、入院患者の増加と診療報酬の改定などにより収益が増加したことから、収支は13,271千円の利益を計上した。

(一般会計繰入金を差引いた場合、275,013千円の損失)

また、介護老人保健施設(そうさぬくもりの郷)においては、皮膚感染症の発生により入所を制限した期間があったことから入所者数が減少し、併せて収益が減少したため収支は17,802千円の損失を生じた。

(一般会計繰入金を差引いた場合、45,353千円の損失)

病院事業合計では、4,531千円の損失を生じたが、前年度と比較すると49,447千円損失は改善した。

(一般会計繰入金を差引いた場合、320,366千円の損失)

病院事業

(単位:千円、%)

区 分	平成22年度		平成21年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
病院事業収益 A	2,079,460	100.0	1,948,787	100.0	130,673	6.7
医業収益	1,836,168	88.3	1,677,153	86.1	159,015	9.5
入院収益	1,108,325	53.3	981,865	50.4	126,460	12.9
外来収益	585,147	28.2	578,558	29.7	6,589	1.1
他会計負担金	52,587	2.5	40,236	2.1	12,351	30.7
その他医業収益	90,109	4.3	76,494	3.9	13,615	17.8
医業外収益	243,292	11.7	271,634	13.9	△ 28,342	△ 10.4
他会計補助金	239,027	11.5	263,665	13.5	△ 24,638	△ 9.3
その他医業外収益	4,265	0.2	7,969	0.4	△ 3,704	△ 46.5
病院事業費用 B	2,066,189	100.0	2,005,437	100.0	60,752	3.0
医業費用	2,020,432	97.8	1,953,736	97.5	66,696	3.4
給与費	1,196,244	57.9	1,135,911	56.7	60,333	5.3
材料費	312,453	15.1	300,686	15.0	11,767	3.9
経費	391,996	19.0	395,522	19.7	△ 3,526	△ 0.9
減価償却費	113,485	5.5	114,226	5.7	△ 741	△ 0.6
その他医業費用	6,254	0.3	7,391	0.4	△ 1,137	△ 15.4
医業外費用	45,337	2.2	49,836	2.4	△ 4,499	△ 9.0
支払利息	5,655	0.3	8,995	0.4	△ 3,340	△ 37.1
その他医業外費用	39,682	1.9	40,841	2.0	△ 1,159	△ 2.8
特別損失	420	0.0	1,865	0.1	△ 1,445	△ 77.5
差引(A-B)	13,271		△ 56,650		69,921	

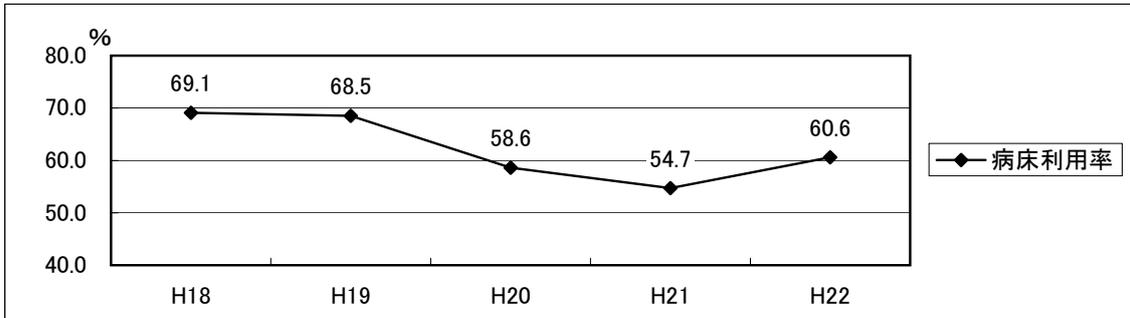
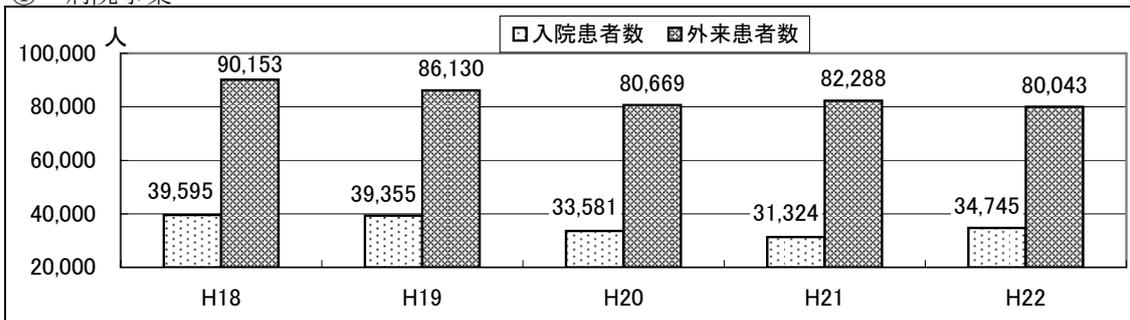
介護老人保健施設事業

(単位:千円、%)

区 分	平成22年度		平成21年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
介護老人保健施設事業収益 A	558,372	100.0	595,851	100.0	△ 37,479	△ 6.3
施設事業収益	460,482	82.5	467,106	78.4	△ 6,624	△ 1.4
訪問看護ステーション収益	45,445	8.1	44,223	7.4	1,222	2.8
居宅介護支援事業所収益	24,417	4.4	25,133	4.2	△ 716	△ 2.8
ヘルパーステーション収益	-	-	14,073	2.4	△ 14,073	皆減
施設事業外収益	28,028	5.0	45,316	7.6	△ 17,288	△ 38.1
介護老人保健施設事業費用 B	576,174	100.0	593,179	100.0	△ 17,005	△ 2.9
施設事業費用	471,544	81.9	457,520	77.1	14,024	3.1
訪問看護ステーション費用	50,007	8.7	57,727	9.8	△ 7,720	△ 13.4
居宅介護支援事業所費用	23,888	4.1	24,936	4.2	△ 1,048	△ 4.2
ヘルパーステーション費用	-	-	21,960	3.7	△ 21,960	皆減
その他医業外費用	30,735	5.3	31,036	5.2	△ 301	△ 1.0
差引(A-B)	△ 17,802		2,672		△ 20,474	

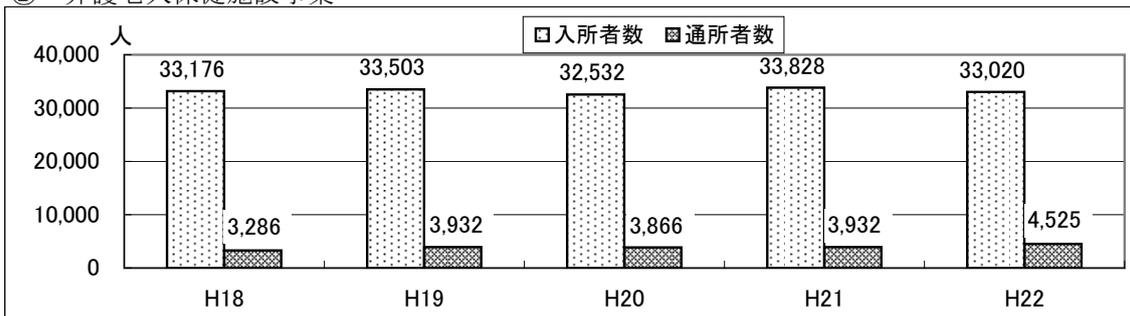
2 患者数の状況

① 病院事業



平成22年度の入院患者は、前年度に対して3,421人(10.9%)増加の34,745人となった。一方、外来患者は、前年度に対して2,245人(△2.7%)の減少の80,043人となった。病床利用率は、60.6%と前年度に対して5.9ポイント増加した。

② 介護老人保健施設事業



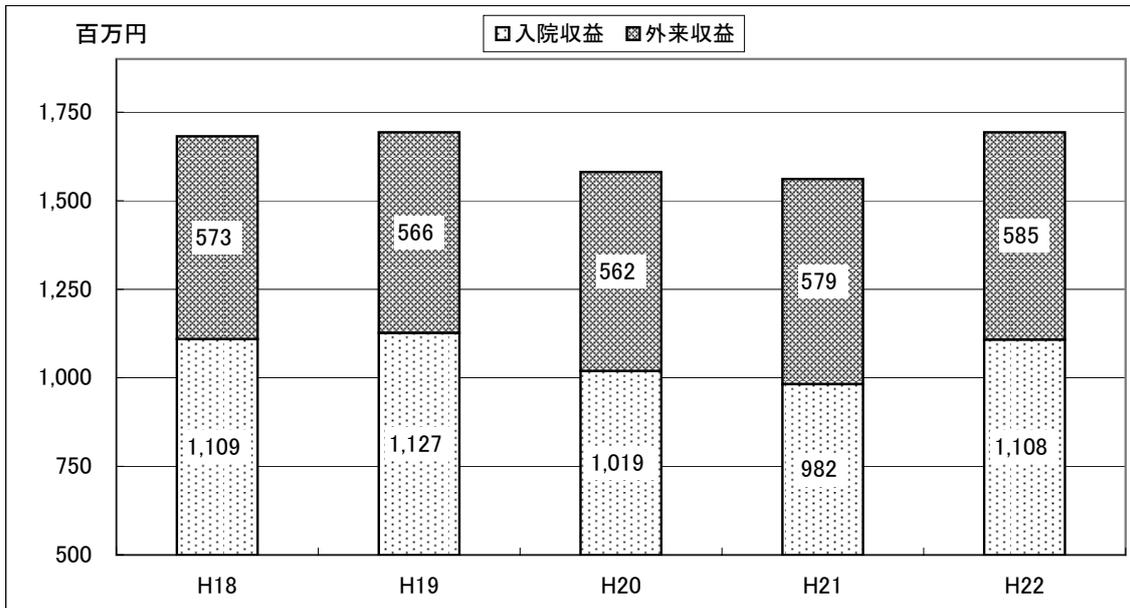
介護老人保健施設そうさぬくもりの郷の入所者数は、前年度に対して808人(△2.4%)の減少の33,020人となった。

一方、通所者は、4,525人と前年度に対して593人(15.1%)の増加となった。

3 収益的収支

(1) 収益

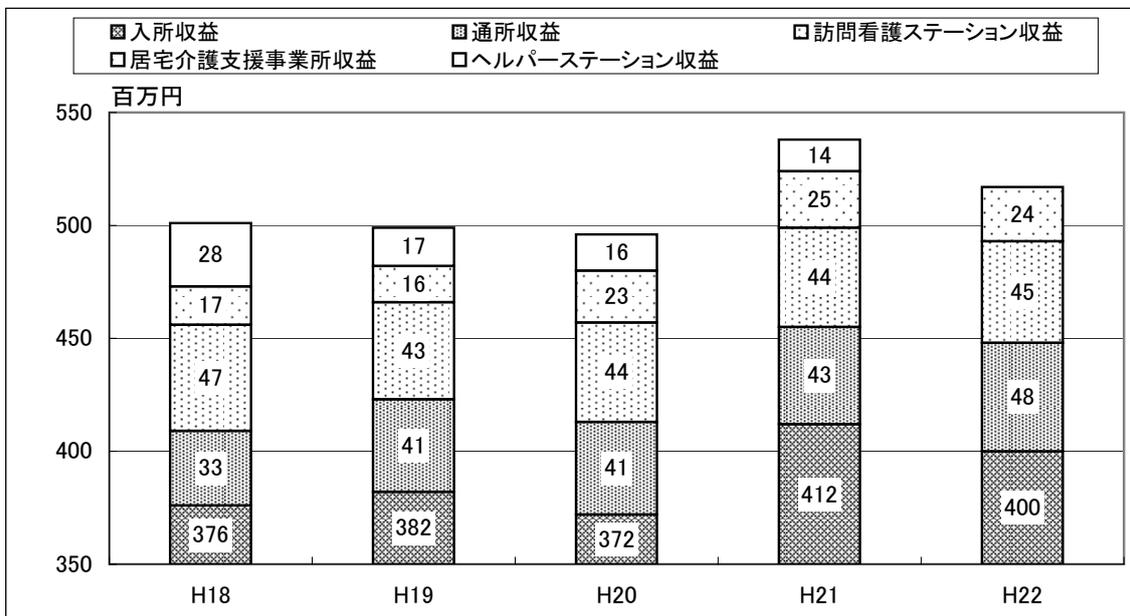
① 病院事業



入院収益は、患者数の増加と診療報酬の改定などにより診療単価が増加したため前年度に対して126百万円（12.8%）増額の1,108百万円となった。

外来収益は、患者数は減少したものの診療報酬の改定などにより診療単価が増加したため前年度に対して6百万円（1.0%）増額の585百万円となった。

② 介護老人保健施設事業



入所収益は、入所者数の減少により前年度に対して12百万円（△2.9%）減額の400百万円となった。

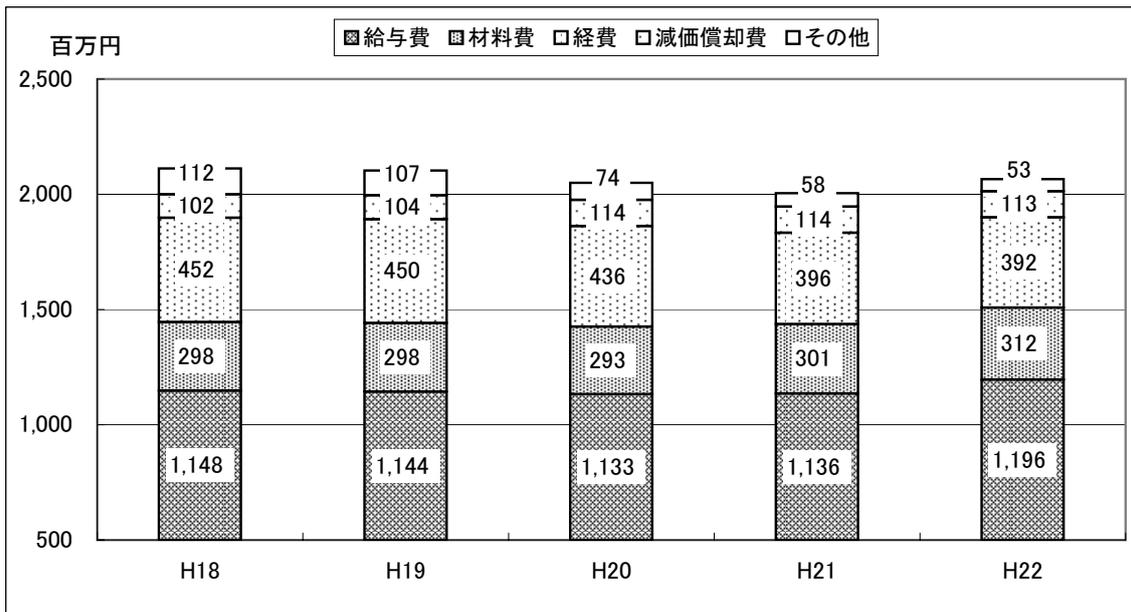
通所収益は、通所者数の増加により前年度に対して5百万円（11.6%）増額の48百万円となった。

訪問看護ステーション収益は、前年度に対して1百万円（2.3%）増額の45百万円となった。

居宅介護支援事業所収益は、1百万円（△4%）減額の24百万円となった。

ヘルパーステーション収益は、平成21年度で事業廃止となった。

(2) 費用
① 病院事業



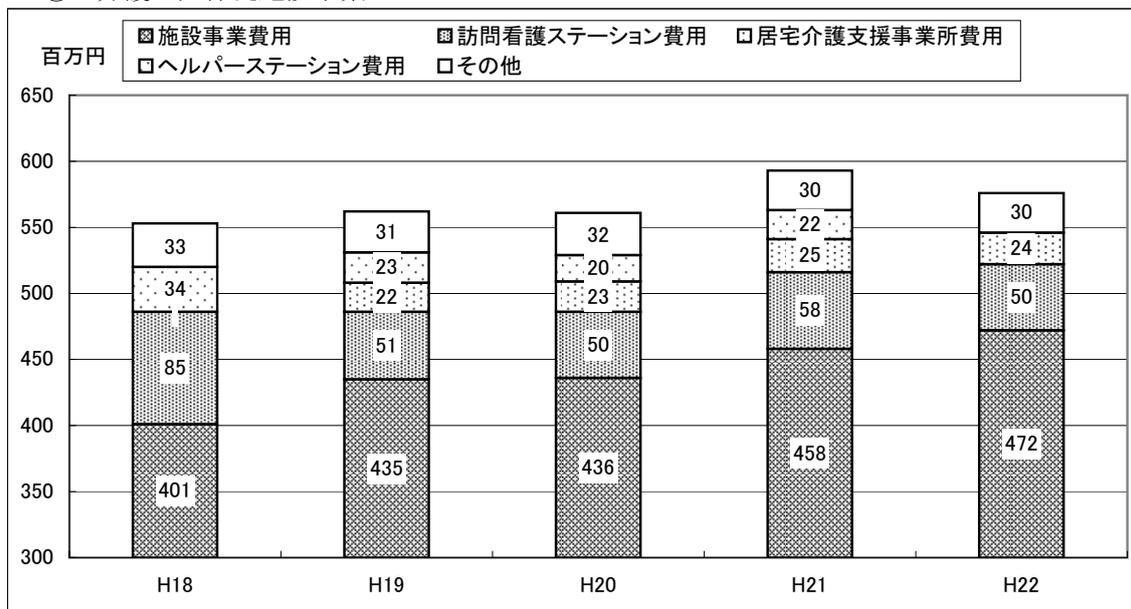
給与費は、職員数の増加などにより前年度に対して60百万円（5.3%）増額の1,196百万円となった。

材料費は、入院患者数の増加などにより前年度に対して11百万円（3.7%）増額の312百万円となった。

経費は、前年度に対して4百万円（△1%）減額の392百万円となった。

減価償却費は、前年度とほぼ同額の113百万円となった。

② 介護老人保健施設事業



施設事業費用は、給与費等の増額により前年度に対して14百万円（3.1%）増額の472百万円となった。

訪問看護ステーション費用は、給与費等の減額により前年度に対して8百万円（△13.8%）減額の50百万円となった。

居宅介護支援事業所費用は、前年度に対して1百万円（△4%）減額の24百万円となった。

4 経営指標の状況

(単位:千円、%)

区分	H18	H19	H20	H21	H22	H21全国 自治体 病院平均
経常収支比率	98.6	99.6	100.8	98.0	99.8	97.3
医業収支比率	89.3	90.6	85.3	84.1	89.1	89.5
医業収益に対する職員給与費	58.6	56.8	60.8	61.3	60.0	55.0
医業収益に対する医薬材料費	15.4	15.3	16.2	17.0	16.4	24.3
1床当たり繰入金	2,256	1,776	2,702	3,734	3,676	3,568

(地方公営企業決算状況調査)

経常収支比率及び医業収支比率ともに前年度から比較すると好転したが、依然として100を下回る厳しい経営となっている。

医業収益に対する職員給与費は、60.0%と前年度と比較すると収益が増額したことにより好転したが、全国平均の55.0%を上回っている。病床1床当りの繰入金は、3,676千円と前年度と比較すると58千円の減額となったが、全国平均を上回っている。

5 病院事業貸借対照表(平成23年3月31日)

資産の部

区分	金額
1 固定資産	
(1)有形固定資産	
ア 土地	200
イ 建物	1,502
ウ 建物付属	743
エ 構築物	22
オ 医療器械	288
カ 器具備品	81
キ 車両	6
有形固定資産計	2,842
(2)無形固定資産	
ア 電話加入権	1
イ 施設利用権	2
ウ その他無形固定資産	49
無形固定資産計	52
固定資産合計	2,894
2 流動資産	
(1)現金預金	640
(2)未収金	355
(3)貯蔵品	12
流動資産合計	1,007
3 繰延勘定	
(1)控除対象外消費税	24
繰延勘定合計	24

資産合計 3,925

負債の部

(単位:百万円)

区分	金額
4 流動負債	
(1)未払金	75
(2)その他流動資産	8
流動資産合計	83

資本の部

区分	金額
5 資本金	
(1)自己資本金	2,576
(2)借入資本金	1,576
資本金合計	4,152
6 剰余金	
(1)資本剰余金	
ア 受贈財産評価額	113
イ 寄附金	31
ウ 補助金	559
資本剰余金合計	703
(2)利益剰余金	
ア 減債積立金	3
イ 建設改良積立金	9
ウ 当年度未処理欠損金	1,025
利益剰余金合計	△ 1,013
剰余金合計	△ 310
資本金合計	3,842

負債資本合計 3,925

資産合計及び負債資本合計は、それぞれ39億2,525万円で前年度と比較すると236万円の増額となった。資産の部のうち、固定資産総額は、建物や医療器械等の減額により前年度に対して1億2,292万円減の28億9,388万円となった。流動資産は、現金預金及び未収金の増額により前年度に対して1億3,285万円増額の10億763万円となった。

資本の部のうち資本金は、前年度に対して4,019万円増額の41億5,260万円、剰余金は、当年度未処理欠損金の増により前年度に対して1,486万円減額の3億1,067万円のマイナスとなった。